

2021年3月30日

**茨城県で、豚流行性下痢(PED)が発生
(今シーズン1例目)**



豚流行性下痢
関連情報 No.1

2021年3月30日、茨城県県西地域の養豚場で、2020年シーズン※1例目のPEDの発生が確認されました。

※シーズン：毎年9月1日～翌年8月31日までの期間

PEDは、哺乳豚の嘔吐、水溶性下痢、致死率50%～100%、繁殖母豚の食欲不振、嘔吐、泌乳低下や停止を主徴とする急性伝染病です。

日本では、2013年10月に7年ぶりの発生があり、2013年シーズンは、38道県817農場、2014年シーズンは、28都道県233農場の発生報告がありました。

2014年にPEDマニュアルが作成され、以降は、豚飼養者が飼養衛生管理基準を遵守し、発生予防、早期発見に努め、また、と畜場等の畜産関係施設では、施設を介して感染が拡大する可能性を踏まえ、飼養衛生管理基準に準じた取り組みを行ってきました。

その結果、2020年シーズンは4県70農場、今シーズンは5県32農場（令和3年3月25日現在）と発生は減少しています。

農林水産省による疫学調査から、主な感染経路は、と畜場を介した交差汚染、未発症感染豚による伝搬感染、家畜排せつ物の運搬に関連する交差汚染の可能

性が高いことがわかりました。

感染対策は、豚舎の消毒、農場に出入りする車両の消毒、と畜場への搬入車両の消毒等、引き続き飼養衛生管理基準の遵守を徹底すること、そして、子豚への被害を減少させるために、母豚へのワクチン接種の継続が重要です。

【関連サイト】

農林水産省

◆ [豚流行性下痢について：農林水産省 \(maff.go.jp\)](http://maff.go.jp)

我が国における PED の発生状況等

我が国における対策（PED 防疫マニュアル）

世界における発生状況

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

◆ [動物衛生研究部門:豚流行性下痢\(PED\) | 農研機構 \(naro.go.jp\)](http://naro.go.jp)

茨城県

◆ [豚流行性下痢に関する情報／茨城県 \(pref.ibaraki.jp\)](http://pref.ibaraki.jp)

県内での PED に関する情報